町内会長・自治会長ならびに町内会・自治会のみなさまへ

# 令和８年度
# 赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします

「困ったときはお互いさま」の精神からはじまった赤い羽根共同募金は、今年で80年目を迎える、皆さまの住んでいる町のために使われる募金です。

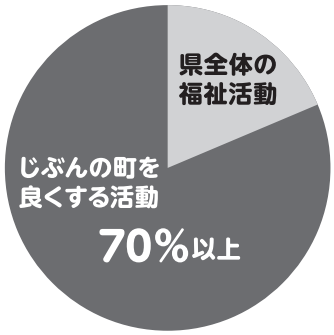
子ども食堂や地域の繋がりづくりのイベント、高齢者・障がい者の社会参加やDV・虐待の被害者保護・防止など、皆さまの身近なところで地域を支えてくれている人たちがいます。

赤い羽根共同募金は、そうした「支える人」を支える募金として、80年の長きに渡り「つながりをたやない社会づくり」を目指して活動を続けています。

あなたの身近な人、同じ町の人たちを支える募金運動に、ご協力をお願いいたします。

**募金の70%以上は自分の町で活用**

赤い羽根募金の70%・市町村歳末たすけあい募金の100%が市町村で活用されます



**いつも赤い羽根共同募金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。**
**今年も地域の皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。**

## 共同募金のフィールドは地域です。

共同募金会は、皆様の身近にある福祉の課題を解決するために、千葉県内の全市町村に共同募金の窓口を置き、募金活動と助成を行っています。

令和7年度に千葉県で使われた募金額は約５億８千万円で、そのうち約４億１千万円は寄付をいただいた市町村の活動のために使われ、約１億７千万円は県域の福祉活動に使われています。

【地域のふれあい交流会】

## 災害時にも「地域」の活動を支えます。

大規模災害に備えて、募金の一部を準備金として積み立てています。（積立限度は募金額の３%で３年間）

令和５年台風13号の接近に伴う大雨被害でも、千葉県内の被災地域で災害ボランティアセンターの設置や、復旧・復興活動を行うボランティア団体の支援のために募金が活用されました。

また、災害用備品の整備や防災訓練にも使われ、減災・防災の取り組みでも活躍しています。

【災害ボランティアセンター立上げ訓練】

## 「つながりをたやさない社会づくり」を推進します。

私たちの暮らしにも、物価高騰や人口減少、地域のコミュニティーの細分化などにより、たくさんの"困りごと"が見られます。

地域のための民間財源である共同募金は、こうした"困りごと"を解決し、皆さんの手で「じぶんの町を良くするしくみ。」として、子育て世代や高齢者・障がいを持つ方など様々な人たちがつながり合い・支え合う地域づくりための支援を数多く行っています。

【子育てサロン】

# 赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

社会福祉法人　千葉県共同募金会　TEL：043-245-1721

詳しい使いみちはこちら